

BAF<sup>®</sup> ベンジルアルコール非含有

# リペアソルブS-2<sup>®</sup>

環境対応型 塗膜剥離剤 水系非危険物

国土交通省  
新技術情報提供システム(NETIS)  
登録No.CB-170013-VE

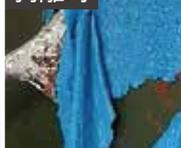
特許  
出願中

荷姿  
16kg  
石油缶

塗布時



剥離時



## ベンジルアルコール由来 の毒性を含まない

特にベンジルアルコールによる「中枢神経系」への影響懸念が緩和され、作業者の負担が大幅に軽減されます。

有害性指標  
(GHS)も  
減少



ベンジルアルコールを含む場合



リペアソルブS-2

- 特長 1 強力な剥離力
- 特長 2 極めて低臭
- 特長 3 非危険物
- 特長 4 吹付け可能な高粘度タイプ

### ◆「ベンジルアルコール」に関する通達・政令の改正◆

橋梁などの鋼構造物の塗膜剥離剤において、ベンジルアルコールを含有する水系塗膜剥離剤が原因と疑われる労働災害が頻発していることから、厚生労働省は令和2年10月19日に基安化発1019第1号通達「剥離剤を使用した剥離作業における労働災害防止について」を发出し、剥離作業への注意喚起がなされました。また、「労働安全衛生法施行令」の改正(令和3年1月1日施行)によりベンジルアルコールのラベル表示・SDS交付・リスクアセスメントが義務化されました。

# 標準施工条件

塗装系		気温・湿度	標準塗布量	剥離可能塗膜厚	膨潤・軟化時間(20℃)
A塗装系	フタル酸樹脂塗料	気温5℃以上 (10℃以上を推奨)	1回の塗布につき 0.5~1.0kg/m <sup>2</sup>	500μm/回	18時間以上
B塗装系	塩化ゴム系塗料				
C塗装系	ポリウレタン樹脂塗料 ふっ素樹脂塗料	湿度85%以下 (結露時は施工不可)			24時間以上
D塗装系	タールエポキシ樹脂塗料				

※膨潤・軟化時間は、既存塗膜の履歴・膜厚・劣化の状況・施工条件などにより異なる場合があります。  
 ※ベンジルアルコール含有タイプよりも塗膜への浸透時間が多くかかるため、特に低気温時には塗布後の放置時間をより長くして下さい。

# 対象塗膜

## 軟化しやすい塗膜

鉛系さび止め塗料      タールエポキシ樹脂塗料  
 フェノール樹脂MIO塗料      エポキシ樹脂塗料  
 エポキシ樹脂MIO塗料      変成エポキシ樹脂塗料  
 長油性フタル酸樹脂塗料      長ばく型エッチングプライマー  
 塩化ゴム系塗料      有機ジソクリッチペイント

## 軟化しにくい塗膜

鉛丹さび止め塗料      ポリウレタン樹脂塗料  
 厚膜型エポキシ樹脂塗料      ふっ素樹脂塗料

## 軟化しない塗膜

ガラスフレーク入り塗料      無機ジソクリッチペイント  
 無溶剤型塗料      無機ジソクリッチプライマー

その他      さび・黒皮(ミルスケール)は除去できない

# 使用方法

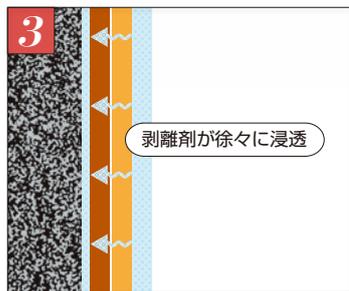
※事前に必ず剥離試験を実施し、適用条件等を確認した後に本施工を行って下さい。



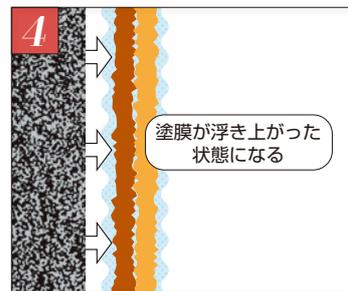
塗布面に付着している泥・苔・鳥の糞等を除去して下さい。汚れた状態は、剥離剤の浸透を妨げ、剥離不良につながります。



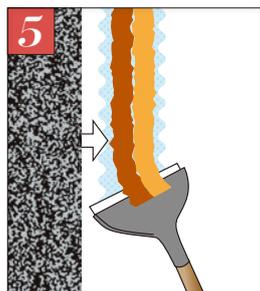
十分に攪拌の上、旧塗膜の上からスプレーガン、ローラー、刷毛等を使用し、剥離剤を塗布します。



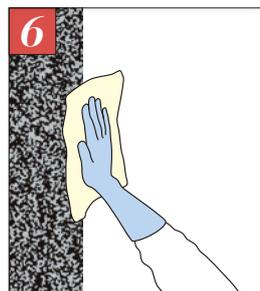
一定時間放置する。剥離剤が徐々に塗膜に浸透していきます。



化学反応により塗膜が軟化湿潤した状態になります。



スクレーパー等で剥ぎ取ると湿潤したシート状に回収できます。1回の作業で除去できない場合は、繰り返し作業を行って下さい。



剥離剤の残留物等がある場合、乾いたウエス等で拭き取ります。その後、素地調整を行い塗装して下さい。

※塗膜が固い場合や塗布部が複雑な形状の場合、剥離剤塗布面を養生するとより効果が上がります。  
 ※SDSの内容をよく読み、内容を理解するまでは使用しないで下さい。

動画あります



三協化学㈱ HP  
 【剥離剤】  
 橋梁塗装の剥離の流れ

# 注意事項

## (1) 取り扱い方法

1. 取扱い作業は火気のない所で行って下さい。
2. 液が直接皮膚に触れないよう、十分注意しながら作業して下さい。
3. 使用中は風通しの良い場所か、十分な換気を行って下さい。
4. 取扱い後は良く手を洗って下さい。
5. 使用した器具は乾かないうちに水や洗剤等で洗浄して下さい。

## (2) 救急処置

1. 蒸気を吸い込み気分が悪くなった時は、空気の新鮮な場所で安静にし、医師の診断を受けて下さい。
2. 手や皮膚等に付着した場合、直ちに大量の水で十分に洗い流して下さい。痛みや外観の変化がある時は、医師の診断を受けて下さい。
3. 目に入った時は、大量の水で数分間注意深く洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
4. 飲み込んだ場合は無理して吐かせず、大量の水を飲ませ、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。

## (3) 貯蔵・保管方法

1. 高温多湿および直射日光を避け、倉庫等の冷暗で風通しの良い場所で保管して下さい。
2. 蓋を良く閉め、子供の手の届かない所に保管して下さい。

## (4) 廃棄物処理

1. 回収した剥離塗材・剥離剤・廃水等は、有資格処理業者に委託して処理して下さい。

## (5) 施工環境

1. 温度:10℃~35℃を推奨します。気温5℃以下でも施工可能ですが、推奨範囲での使用がより効果的です。湿度:85%未満でご使用下さい。但し、塗布面が結露している場合は、湿度が85%未満であっても施工できません。
2. 0℃以下となる環境下でのご使用および保管は避けて下さい。剥離剤が凍結・解凍後も性能が回復しない場合があります。
3. 降雨、降雪、結露、霜の条件下またはその影響がある場所は施工は避けて下さい。特に、塗布後の降雨は、剥離剤が流出し、軟化効果が得られなくなる場合があります。

## (6) 開封時

1. 剥離剤が高温となるような環境下に置かないで下さい。剥離剤が高温になると、容器内圧が高まりキャップが飛んだり開封時に中身が飛び出るおそれがあります。

## (7) 施工時

1. 剥離剤を吹付け施工する場合は、飛散防止のための養生を行なって下さい。
2. 必ず保護衣・保護メガネ・呼吸用保護具などの適切な保護具を着用して作業を行って下さい。
3. 剥離剤が付着した箇所は滑りやすくなりますので、ご注意下さい。

## (8) 施工後

1. 作業後は必要に応じて水や洗剤等で剥離剤の残存物を洗浄、除去して下さい。塗装不良原因となる場合があります。
2. 洗浄後は塗装面を十分に乾燥させてから、塗装工程を行なって下さい。
3. 洗浄に使用した水は下水や河川に流さず回収し、塗膜片を除去後、有資格処理業者等に依頼し適切に処理して下さい。

※物性・関連法規・注意事項等の詳細に関してはSDS(安全データシート)の内容をご確認願います。SDSは弊社HPの「お問い合わせ」欄からご請求願います。

※リベアソルブは、三協化学株式会社登録商標です。

製造元



SANKYO CHEMICAL  
 三協化学株式会社  
<http://www.sankyo-chem.com/>

本社 〒464-0011 愛知県名古屋市中区白壁4-68  
 TEL:052-931-3111 FAX:052-931-0976

東京事業所 〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-10-1 丸石ビル別館5階  
 TEL:03-5289-4777 FAX:03-5289-9088

大阪事業所 〒541-0045 大阪府大阪市中央区道修町2-1-10 T・M・B道修町ビル3階 130号室  
 TEL:06-6203-7277 FAX:06-6231-6166

九州事業所 〒812-0012 福岡県福岡市博多区博多駅中央街8-1 JRJP博多ビル3階  
 TEL:092-686-8898 FAX:092-686-8761

北陸事業所 〒920-0901 石川県金沢市彦三町1-2-1 アソルテイ金沢彦三町3階  
 TEL:076-293-1854 FAX:076-293-1881